

表彰プラン 事業概要

◎準大賞 想いをつなぐ 空き家再生プロジェクト

受賞者 一般社団法人 空き家人情プロジェクト さん (通り町)

〔事業概要〕

伊那谷らしさを伝える空き家、空き店舗、空き農地などの空間を有効活用するため、所有者と借り手の想いを繋ぎ、保存再生活用することを通じて地域活性化につなげる。主に「所有と利用の分離方式(所有者から同法人が借り上げて、改修し利用者に貸し出す手法)」を活用しながら事業を推進するとともに、個人の想いや力だけでは実現できない課題は、各分野に精通したプロを紹介し、顧客が行う事業全体をコンサルティング&コーディネートする事業である。

天龍峡駅前にある旧土産物店「天竜堂」の再生事業を皮切りに、U・I ターン者も魅力を感じるような産業や労働の創出につなげる。

〔評価〕

リニア・三遠南信時代を見据えた地域課題を解決するために立ち上げた事業であり、たいへん公益性が高く、大いに期待が持てる。具体的な再生案件も複数動き出しているようであり、店舗運営や人的ネットワークによる支援など、民間事業者としての強みを活かしたプランだと言える。

一方で、ビジネスとしての収支構造や雇用促進といった点において更に磨き上げる必要もあることから、準大賞が妥当と判断される。起業奨励金として100万円を授与する。

◎奨励賞 美容室×(かける)オウンドメディアで地域経済を活性化し、飯田の良いものを全国に発信しよう

受賞者 北村 崇綱 さん (千代)

〔事業概要〕

美容室 glovers Hair&Esthe IIDA JAPAN という美容室の起業とあわせて、オウンドメディア(北村さんの事業では地域の魅力や人・プロジェクトを発信するウェブサイトのこと)を用いて自店及び連携をしている企業を中心に「飯田の良いもの」を発信する事業を行う。美容室では他店にはないサービスを提供するほか、半個室型の接客スペースを設けるなど、内面の美しさを引き出すトータルビューティーの美容室を目指す。あわせて地域内の協力者と連携しオウンドメディアを立ち上げ、コラボ商品やサービスを企画・開発するとともに情報発信を行い、それぞれの事業だけでなく飯田市の地域経済活性化にもつながる相乗効果を狙う。

〔評価〕

美容師としてキャリアを積み、地域活性化にも貢献できる美容室とは何かを十分に考えられた計画であり、その思いはビジネスプランからも伝わってくる。

美容室の起業案件としては実現性の高い優れた案件である一方で、もう一つの主要事業であるオウンドメディアについては、3月末の供用開始までに、運営組織や体制、マンパワー、更新頻度、数値目標などについてさらに具体化しておくべき点が指摘されるため、あと一步の計画の作り込みを期待して、奨励賞が妥当と判断される。

◎奨励賞 昭和の屋台、平成の赤提灯 しろ田屋

受賞者 代田 淳一 さん (県)

〔事業概要〕

「おなかと心の満足を提供します」を経営理念とし、飯田のソウルフード「豚生おたぐり焼き」を看板メニューにした屋台風の居酒屋を開店させる。中高年配者を主なターゲットに、忘れ去られてしまった昭和の心温まる雰囲気（店のおやじと隣人と酒を交わしながら語れる）や屋台文化を広く発信し、丘の上の活性化に貢献する店を目指す。食事以外では、絵葉書や飯田弁での会話など、コンセプトを意識したサービスを提供し、人々が集まり憩いの場となる店にする。

〔評価〕

人生のラストチャレンジとして5年以上前から準備・計画してきた内容であり、その思いはビジネスプランからも伝わってくる。居酒屋の事業計画としては十分に検討されており、本物の屋台にこだわって飯田の古き良き文化を傳承しようというスタイルや、代田さんの店主としての人柄も光る一方で、評価項目の一つである「新規性・独自性」において、他の居酒屋と本質的に異なる差を打ち出しにくいビジネスモデルであり、特に、屋台の実現には今後様々な課題が控えていることから、実現への道筋の具体化をあと一步期待して、奨励賞が妥当と判断される。

※応募案件はすべて、商工会議所と連携し、事業化にむけた支援を継続いたします